

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	一般国道58号 浦添北道路Ⅱ期線		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県宜野湾市宇地泊 至：沖縄県浦添市港川			延長	2.0km	
事業概要						
<p>一般国道58号「浦添北道路Ⅱ期線」は、宜野湾市宇地泊から浦添市港川に至る延長2.0kmの主要幹線道路である。沖縄ブロック新広域道路交通計画において、定住自立圏や重要な拠点、空港・港湾を連絡する「高規格道路」として位置づけられており、沖縄本島北部及び中南部から那覇空港間の定時性・高速性を確保するとともに物流・観光の効率化を支援する道路である。</p> <p>また、那覇都市圏の2環状7放射道路の一部を形成し、交通経路の分散化による慢性的な混雑緩和を図る道路である。</p>						
H31年度事業化		H17年度都市計画決定		-	R2年度工事着手	
全体事業費		約350億円	事業進捗率 (令和5年3月末時点)		約11%	供用済延長 2.0km
計画交通量 46,100台/日						
費用対効果 分析結果	B/C		総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)
	(事業全体) 1.9 (残事業) 2.3		236/277億円 事業費：229/270億円 維持管理費：6.4/6.4億円		536/536億円 走行時間短縮便益：508/508億円 走行経費減少便益：28/28億円 交通事故減少便益：0.29/0.29億円	
基準年 令和5年						
感度分析の結果						
<p>(事業全体) 交通量変動 B/C=1.8~2.2 (交通量±10%) (残事業) B/C=2.1~2.5 (交通量±10%) 事業費変動 B/C=1.8~2.1 (事業費±10%) B/C=2.1~2.5 (事業費±10%) 事業期間変動 B/C=1.8~2.1 (事業期間±20%) B/C=2.1~2.4 (事業期間±20%)</p>						
事業の効果等						
<p>① 円滑なモビリティの確保 ・浦添北道路Ⅱ期線の容量拡大（2車線から6車線）により、浦添北道路Ⅱ期線、並行する国道58号の混雑が緩和。</p> <p>② 地域経済・観光活動の支援 ・沖縄西海岸道路・国道58号の円滑な移動が確保されることで、円滑な経済活動、観光活動を支援。</p> <p>③ 交通事故の減少 ・浦添北道路Ⅱ期線の整備により国道58号の交通量が転換し、混雑緩和による交通事故の減少が期待される。</p> <p>④ 地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。</p> <p>⑤ 生活環境の改善・保全 ・NOx排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
<p>【沖縄県知事】 一般国道58号浦添北道路Ⅱ期線は、沖縄西海岸道路の一部を担っており、沖縄ブロック新広域道路交通計画において、定住自立圏や重要な拠点、空港・港湾を連絡する「高規格道路」として位置づけられているとともに、2環状7放射道路の一部を形成し、那覇都市圏の渋滞緩和に資する極めて重要な道路と認識しております。</p> <p>本道路は現在2車線で供用されていますが、前後区間が4車線でありボトルネックとなっております。また本道路の現道区間である国道58号では慢性的な交通渋滞が生じていることに加え、那覇港第2クルーズバスの供用開始等により、今後も交通負荷の増大が予想されることから、本道路の早期整備は急務であります。</p>						

以上により、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意いたします。

事業評価監視委員会の意見

- ・事業の継続を了承する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・国道58号浦添北道路Ⅱ期線の位置する浦添市の人口の伸び率は、全国平均を上回る伸び率を示しており、今後沿線開発等が進むことで更なる人口の増加が期待される。
- ・沖縄県の走行台キロは、全国を大きく上回る伸び率である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成31年度に事業化、用地進捗率99%、事業進捗率11%（令和5年3月末時点）。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・全線開通に向けて整備を推進中。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら事業を推進する。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。